

鳥が結ぶ 我孫子市との交流



この時期にはめずらしい野鳥と出会いました

千葉県我孫子市との交流が、野鳥と志賀直哉ゆかりの地という共通点をきっかけとして3年前から始まりました。これまで、我孫子市で毎年催される「ジャパンボードフェスティバル」に大山町のブースを出して、大山の野鳥の紹介と観光宣伝をしてきました。

今回は、我孫子市から福島前市長と市民グループ16人が2月10日(土)に大山を訪れました。当日一行は二班に分かれて、一班は「凧」作り、もう一班はスノーシューを履いて大山



手づくりの凧が完成

の森の中をトレッキングしました。

凧作りは、町内4家族が参加。我孫子市の「鳥の博物館友の会」の方から指導を受け、各自思いのデザインを施しオリジナルの凧ができました。

スノーシュートレッキングは、中の原スキー場横の森の中で行われ、あいにくの雨でしたが、普段はできない雪の森の散歩を楽しんでいただきました。

この時期には、ほとんど野鳥に出会うこともないのに、普段から野鳥に親しむ我孫子市民を歓迎するためなのか、コガラなどの小鳥が目の前に現れてくれ可愛い表情を見せてくれました。

最後に全員が榎原駐車場に集まり、凧揚げに挑戦。風の弱い日でしたが、うまく風をとらえられた凧は、空高く舞い上がって鳥が空を飛んでいるようでした。

短い時間でしたが、楽しく交流ができてお互いの心に残る思い出となりました。



小学生の餅つきとゲームで盛り上がりました



高麗保育所園児の元気なダンス

「こっけいふるさと祭り」

生きがいとふれあいの祭



力のこもった作品が展示されました

今年で25回目となる大山公民館高麗分館のお祭り「こっけいふるさと祭り」が、2月17日(土)、18日(日)に行われました。ちぎり絵、パッチワーク、俳句などの展示、お茶席、手づくり豆腐の販売、芸能発表会などがあり、たくさんの方で賑わいました。

芸能発表会では、公民館活動同好会サークルの舞踊、琴の演奏、地区の婦人団体の寸劇などがステージで繰り広げられました。立ち見が出るほど集まった観客は、「毎年楽しみにしています。日ごろの練習の成果を見せてもらいました」と話し、笑いと拍手のたえない会場でした。